

勤務計画書及び出勤簿の作成について

毎月の勤務は、原則として勤務計画書に従っていただきます。ただし、やむをえず、その時間帯に勤務できなくなった場合は他の時間に振り替えて勤務することができます。

出勤簿は会計検査等の対象となりますので、誤記等のないように確認のうえ提出してください。

【勤務計画書に係る留意事項】

・勤務時間：

- ① 1日8時間、1週間10時間、1月40時間を超える労働態様にしないこと。(別紙1 ※1)
- ② 労働時間帯は、できる限り8：30～17：15の時間内に設定すること。
8：30以前及び22：00以降の労働時間は認められません。また、時間帯は1時間単位で区切ること。(給与は時間給となっています。)
- ③ 勤務日は、平日のみとなります。土・日曜日及び休日は勤務日にはできません。
(12月29日～1月3日は年末年始休日。)

・休憩時間：

- ① 労働時間が4時間を超える場合は45分以上の休憩を置いてください。(別紙1 ※2)
ただし、労働時間が6時間を超えない場合において特別の事情があるときは、休憩時間を置かないことができます。
- ② 労働時間帯中に上記①の休憩時間を置く場合は、休憩時間を必ず記入すること。
- ③ 午前から午後にかけて勤務をする場合は、お昼休みを必ず設けること。(別紙1 ※3)
また、労働時間帯中に授業等による空白時間が入る場合は、前後の労働時間をそれぞれ区分して記入すること。(別紙1 ※4)
(勤務計画書・出勤簿の記入例で確認してください。)

・その他留意事項：

- ① TA本人の授業及びアルバイトに重ならないようにすること。
アルバイトの曜日、時間帯が明確に分かっている場合は、その時間を時間割表に記入し提出して下さい。

【出勤簿に係る留意事項】

- ① 労働日のTA印欄に押印すること。(丁寧に押印すること。)
- ② 仕事内容欄には、「ティーチング・アシスタント制度の運用について」を参照に、具体的な仕事内容を記入すること。
学部学生・修士課程学生に対する実験・実習・演習等の教育補助業務とする。
- ③ 指導教員の氏名の記入及び押印に漏れがないようにすること。(代筆は不可。氏名のゴム印は可)

月計		2 4		時間	総時間数	161		
氏 名		神戸 太郎		フリガナ コウベ タロウ		フリガナが違う時は、 手入力		
学籍番号		199M802M						
授業科目名		授業科目名を記入						
9	月	時間帯及び休憩時間の欄がエラー(FALSE)になる場合は、 直接入力						
日	曜日	時間帯		休憩時間		備考		
		時	分	時	分	時	分	
3	月	9	0	15	0	12	0	授業準備
6	木	13	0	18	0	16	0	実験補助
10	月	13	0	19	0	15	0	授業準備
11	火	9	0	15	0	12	0	実習補助
24	月	9	0	18	0	12	0	実験補助
27	木	9	0	18	0			

※右の表にすべて反映されるので、**左側のカラー**になっているところに入力して下さい。

ティーチング・アシスタント出勤簿 (記入例)

・1日8時間まで

・1週間10時間まで
(DC1等は週5時間まで)

・1月40時間まで
(DC1等は月20時間まで)

・勤務時間は8:30～22:00迄

フリガナも記入

(学番 199M802M) 氏名 コウベ タロウ 神戸 太郎

授業科目名 授業科目名を記入

1日8時間以内、週10時間以内で作成
(DC1等は週5時間以内) ※休憩時間を
入力すると休憩時間を除いた時間数が記
入される

日	曜日	時 間 帯	時 間 数	T.A. 印	仕 事 内 容
3	月	9時00分 ～ 15時00分 休憩時間 12:00 ～ 13:00	5		授業準備
		時 分 ～ 時 分			
6	木	13時00分 ～ 18時00分 休憩時間 16:00 ～ 17:00	4		実験補助
10	月	13時00分 ～ 19時00分 休憩時間 15:00 ～ 16:00	5		授業準備
11	火	9時00分 ～ 15時00分 休憩時間 12:00 ～ 14:00	4		実習補助
		時 分 ～ 時 分			
		時 分 ～ 時 分			
24	月	9時00分 ～ 18時00分 休憩時間 12:00～14:00、16:00～17:00	6		実験補助
		時 分 ～ 時 分			
		時 分 ～ 時 分			
27	木	9時00分 ～ 18時00分	入力ミス		
		時 分 ～ 時 分			
		時 分 ～ 時 分			
		時 分 ～ 時 分			
		時 分 ～ 時 分			
		時 分 ～ 時 分			
合 計			24 時間		

午前から午後にかけて勤務する場合は、お昼休みを設けること

授業の時間も休憩欄に記入する

4時間を越える45分以上の休憩が必要です。

仕事内容欄は具体的に記入してください。(例:授業準備、実験補助等)

勤務時間が8時間を超える場合、入力ミスと表示されるので、訂正すること

休憩時間を記入

※ 上記時間帯について作業に従事したことを確認しました。
又上記時間帯は当人の授業等に重複していないことを確認しました。

指導教員：氏名

印

医科学専攻教務学生係長確認：

労働時間管理員：